

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名	幼稚園図書環境整備					所管	教育委員会 庶務課
	行政計画	事業NO.	206	計画事業名	就学前施設における読書活動の推進			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成 [小 柱] (2) 就学前児童に対する教育・保育の充実 [施策] ① 就学前教育の推進					[事業開始] 平成18年度 [終了予定] - 年度	
	根拠法令等	その他	[法令等名]	なし				
	事業対象	区立幼稚園図書コーナー及び園児						
	事業目的	区立幼稚園図書コーナーの蔵書を充実することにより、幼児期より本に親しむ環境づくりを行い、園児の読書活動を推進するとともに、情操教育の効果を高める。						
	事業内容	幼稚園図書コーナーの蔵書の充実と、幼稚園図書コーナーの効果的な運営を行う。						
	委託の有無	なし	委託内容					
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	区立幼稚園数	園	10	11	10	10	
	成果指標	1園あたり図書購入数	冊	110	119	100	116	
	決算額	(単位：千円)			1,642	1,490	1,495	
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			511	510	481	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			1,643	1,491	1,496	
		(単位：千円) その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			2,154	2,001	1,977	
	財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		(単位：千円) その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源(区負担額)			2,154	2,001	1,977			
前回評価から改善した事項	なし							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	幼児期より本に親しむ環境づくりを行い、情操教育効果を高めるため、蔵書の充実が必要である。また、子供の読書活動を推進するためにも更なる図書整備が必要である。					
	効率性	3	基準(幼稚園図書標準)は整っていないが、幼児用図書は消耗が激しく、継続的な整備が今後とも必要である。					
	手段の適切性	3	義務教育へつなげる幼児教育の維持向上を図るために必要な手段である。					
目的達成度	4	成果指標を達成することにより、区立幼稚園における園児の読書活動が活発に行われ、幼稚園図書が有効に活用されている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
園児の情操教育効果を高めるうえで、図書の充実は必要不可欠であり、今後とも図書環境の整備に努めていく。					維持			